

## ナシ病害虫の発生状況（8月）

### （1）ナシ黒星病

新梢葉及び果実での発生ほ場割合は、平年並の状況でした（図1、2）。発生の多いほ場では幸水収穫後に秋期防除を徹底し、越冬菌密度の低下を図りましょう。

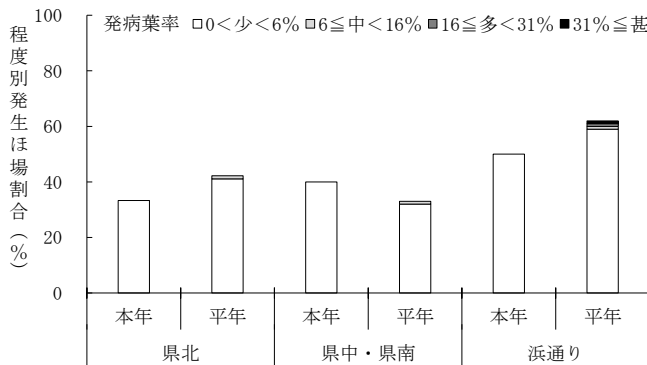


図1 ナシ黒星病の新梢葉での発生状況（8月下旬）

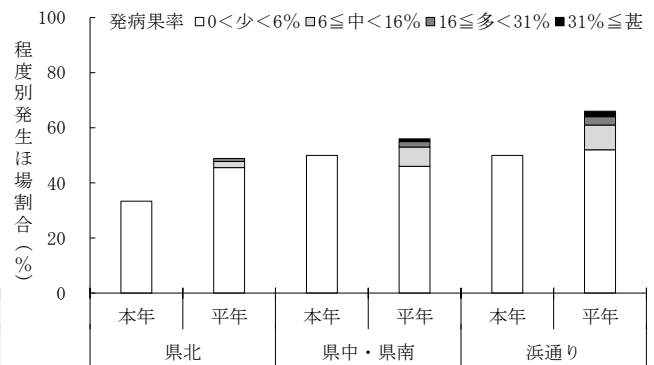


図2 ナシ黒星病の果実での発生状況（8月下旬）

### （2）ナシ輪紋病

果実発病は確認されませんでした。

### （3）カイガラムシ類

ナシマルカイガラムシによる果実被害を中通りで確認しました。

### （4）シンクイムシ類

ナシヒメシンクイによる果実被害を中通りで確認しました。

### （5）ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、平年並の状況でした（図3）。園地での発生状況をよく観察し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達した場合は、薬剤散布を実施しましょう。

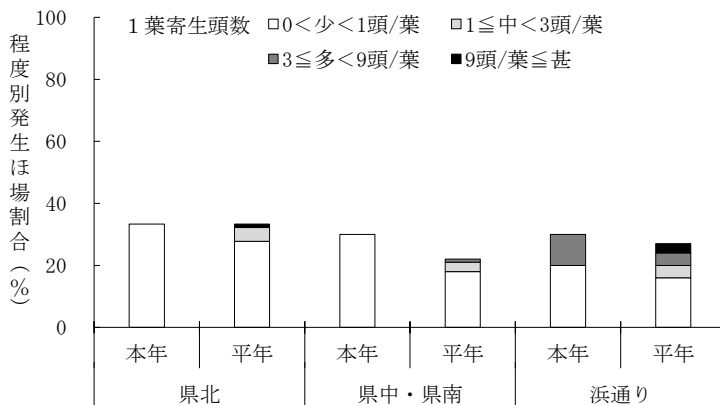


図3 ハダニ類の発生状況（8月下旬）

## (6) カメムシ類

果実被害発生ほ場割合は、平年並の状況でした（図4）。園地での飛来状況をよく確認し、発生を確認したら速やかに薬剤防除を実施しましょう。

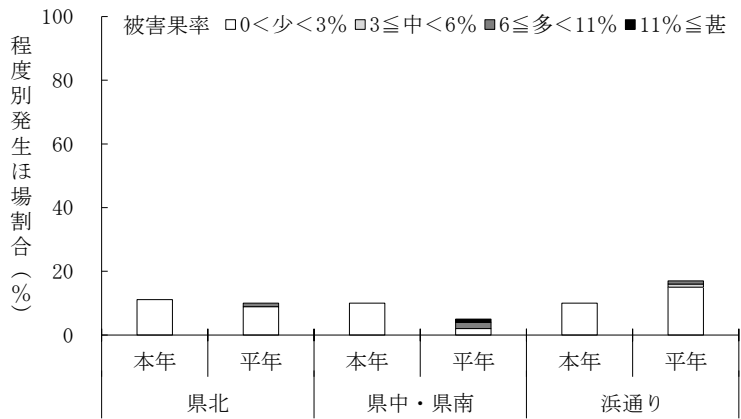


図4 カメムシ類による果実被害の発生状況（8月下旬）